

令和6年度

群馬大学免許法認定通信教育

実施要項

国立大学法人

群馬大学

1. 目的

この免許法認定通信教育は、特別支援学校教員免許状を取得するために必要な単位を修得させ、併せてその資質の保持と向上を図るために実施するものです。

取得する免許状の種類は、特別支援学校教諭免許状（聴覚障害者）一種免許状です。

2. 受講資格

特別支援学校教諭二種免許状（聴覚障害者）を有していること。

3. 開設科目等

(1) 開設科目・単位数・履修期間

| No. | 開設科目名 | 単位数 | 履修期間 |
|-----|----------------------|-----|------------------------------|
| 1 | 聴覚障害児の心理・生理及び病理 | 2 | 令和6年8月1日（木） ～令和7年2月28日（金） |
| 2 | 聴覚障害児の教育課程と指導法 | 2 | 令和6年8月1日（木） ～令和7年2月28日（金） |
| 3 | 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育 | 2 | 令和6年8月1日（木） ～令和7年2月28日（金） |

講義概要は別紙1実施計画書（科目区分、中心となる領域など）をご参照ください。

以上の3つの「通信教育」は、令和6年度に群馬大学で開講されます。

来年度開設する科目については、現時点では未定です。

(2) 開設科目の概要

| No. | 開設科目名 | 科目の概要 |
|-----|----------------------|---|
| 1 | 聴覚障害児の心理・生理及び病理 | 聴覚器の基本と疾患、及び聴覚障害児の心理的発達について解説する。これにより、聴覚障害の基礎的理解を深めるとともに、障害と社会（環境）の相互作用の観点から、聴覚障害児・者の発達や社会における生きづらさについて理解を深める。 |
| 2 | 聴覚障害児の教育課程と指導法 | 聴覚障害児教育における教育課程と指導法について解説する。聴覚特別支援学校の現場で用いられている指導実践の背景にある理論を理解し、聴覚障害児教育の今日的課題に応える指導法のあり方を考察していく。 |
| 3 | 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育 | 聴覚障害と他の障害（視覚障害、知的障害、発達障害）を併せ持つ重複障害児の教育をめぐる包括的課題について解説する。就学前の課題、教育課程・指導法上の課題、アセスメントの課題、卒業後の課題、盲ろう者支援の課題等について検討し、これにより、障害が「重複」することによる重層的な困難さについて考察していく。 |

(3) 担当講師

| No. | 開設科目名 | 講師名 (◎は責任者) |
|-----|----------------------|--|
| 1 | 聴覚障害児の心理・生理及び病理 | ◎群馬大学共同教育学部教授 金澤 貴之 群馬大学共同教育学部准教授 中野 聡子 特定非営利活動法人難聴者支援センター理事長・ 群馬大学医学部名誉教授 古屋 信彦 |
| 2 | 聴覚障害児の教育課程と指導法 | ◎群馬大学共同教育学部教授 金澤 貴之 群馬大学共同教育学部准教授 中野 聡子 群馬大学共同教育学部准教授 木村 素子 |
| 3 | 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育 | ◎群馬大学共同教育学部教授 金澤 貴之 群馬大学共同教育学部准教授 中野 聡子 群馬大学共同教育学部准教授 木村 素子 群馬大学共同教育学部准教授 阿尾 有朋 東京都盲ろう者支援センター長・ 群馬大学共同教育学部客員准教授 前田 晃秀 東京学芸大学総合教育科学系 特別支援科学講座准教授 大鹿 綾 日本社会事業大学社会福祉学部講師・ 群馬大学共同教育学部客員講師 二神 麗子 |

4. 申込み

(1) 申込期間 (Web 申込)

令和6年6月10日(月) 10:00 ~ 6月28日(金) 17:00

電話・メール・FAX・郵送及び来校等による申込みは受付けていません。

先着順ではありませんので、申込期間内でお時間のあるときにお申し込みください。(申込者数が入受可能人数を超えた場合は、申込期間終了後に抽選で受講者を決定させていただく場合がありますので、ご承知おきください。)

(2) 本学の「群馬大学免許法認定通信教育」のホームページから申し込んでください。

URL:<https://www.edu.gunma-u.ac.jp/major/human-science/special-needs/tsuushin-kyoiku/>
上記のページに掲載されている Google フォームへ、志願者情報を入力してください。

5. 受講料の納入 (振込)

(1) 受講料

1 科目 (2 単位) あたり 10,200 円です。

(2) 振込先

7月10日(水)頃までに、振込先を記入した「免許法認定通信教育受講者の決定及び受講料の納入について」の文書を郵送いたします。

(3) 振込方法

上記(2)の「免許法認定通信教育受講者の決定及び受講料の納入について」の文書をご確認いただき、金融機関の窓口・ATM・インターネットバンキング等からお振込みください。なお、期日までに納入が確認できない場合は参加アドレスのご案内ができませんので、あらかじめご了承ください。受講者本人名義以外からのお振込みにつきましては、事前にその旨ご連絡ください。

(4) 払込期間

納入期限は7月19日(金)を予定しています。正式な納入期限は「免許法認定通信教育受講者の決定及び受講料の納入について」の文書でお知らせします。

6. 通信教育のキャンセルについて

(1) 通信教育の受講をキャンセルする場合は、7月19日(金)までに通信記録が確認できるメール又はFAXにて、●氏名、●開設科目名、●辞退理由を連絡してください。受講料は原則として返還しませんが、以下の事由の場合は、所定の返還請求手続きにより、受講料から返還に要する振込手数料を控除した額を返還します。

- ① 本務校の業務のため、通信教育を受講できない場合。
- ② 受講者又は近親者の死傷病又は自然災害等による罹災のため、通信教育を受講できない場合。

(2) 7月20日(土)以降のキャンセル及び無断キャンセルの場合は、いかなる理由であっても受講料は返還しません。(日程の一部キャンセルによる一部返金には応じかねます。)

7. 指導計画及び成績審査の方法

別紙2をご参照ください。

8. 受講環境

(1) 受講にはインターネット環境を有したパソコンが必要です。

(2) 最新版のOS、ブラウザでのご利用をお勧めいたします。

ブラウザは以下のものをご利用ください。

Chromeの最新版

Firefoxの最新版

Safariの最新版

Edgeの最新版

9. 指導体制

(1) 担当教員8名により、受講者の指導を行います。

(2) 授業、教材等学習上の質問については、各担当講師が回答します。質問等の対応はLMS(Learning Management System)で行います。LMSのアドレスは、7月下旬頃にメールでお知らせいたします。

10. 図書館の利用

受講者は、学習・調査・研究を目的に直接来館すれば、群馬大学総合情報メディアセンター附属図書館をご利用いただけます。さらに、利用者登録を行うと、5冊、2週間までの館外貸出サービスも利用することができます。詳細につきましては、総合情報メディアセンターのホームページ「学外者の利用について」(<https://www.media.gunma-u.ac.jp/guide/lib/guests.html>)を御覧ください。

11. 学力に関する証明書・単位取得証明書

- (1) 30 時間の課程のすべてを履修した場合には「学力に関する証明書」及び「単位取得証明書」を発行します。
- (2) 発行時期は 3月下旬を予定しています。

12. 特別な配慮

受講に際して特別な配慮が必要な方は、必ず申込み前に電話又はメールにてご相談ください。

13. 受講者への連絡等

通信教育についての情報提供・受講者への連絡等は、メール・LMS 又はホームページで行い、紙媒体では行いません。本学共同教育学部入学試験係からのメール又は LMS からの自動送信メールを必ず確認してください。

14. 連絡先

群馬大学共同教育学部入学試験係（免許法認定通信教育担当）
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4 丁目 2 番地（荒牧キャンパス）
電話： 027-220-7396, 7221
FAX： 027-220-7240
メール： recurrent@ml.gunma-u.ac.jp
ホームページ
： <https://www.edu.gunma-u.ac.jp/major/human-science/special-needs/tsuushin-kyoiku/>

受付時間： 平日（月～金）9：00～17：00（土・日・祝日を除く）

令和6年度群馬大学免許法認定通信教育実施計画書

| 開設しようとする認定通信教育の課程に相当する教職課程の有無 | | | | | 有 | | | | | |
|-------------------------------|------------------|-------------|------------------|-----------------------------------|--|---|------|------------------------|---------------------------------------|---------------|
| No. | 免許状の種類 | 免許法別表第8対応科目 | 免許法施行規則に定める科目区分等 | | 左記に対応する開設科目名 | 授与単位 | 履修期間 | 試験日 (論文審査日) | 受講定員数 | |
| | | | 科目 | 各科目に含める必要事項 | 中心となる領域 含む領域 | | | | | |
| 1 | 特支一種免 (聴覚障害者) | - | 特支 | 特別支援教育領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 聴覚障害児の心理・生理及び病理 (R6認定通信) 聴覚障害者 | 2 | R6. 8. 1～ R7. 2. 28 | 90分の講義ごとに小テストを行う。 最終試験日は令和7年2月28日。 | 30 (人) |
| 2 | 特支一種免 (聴覚障害者) | - | 特支 | 特別支援教育領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 聴覚障害児の教育課程と指導法 (R6認定通信) 聴覚障害者 | 2 | R6. 8. 1～ R7. 2. 28 | 90分の講義ごとに小テストを行う。 最終試験日は令和7年2月28日。 | 30 (人) |
| 3 | 特支一種免 (聴覚障害者) | - | 特支 | 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育 (R6認定通信) 重複・発達領域 視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者 | 2 | R6. 8. 1～ R7. 2. 28 | 90分の講義ごとに小テストを行う。 最終試験日は令和7年2月28日。 | 30 (人) |

指導計画及び成績審査の方法

| No. | 開設科目名 | 授業形態 | 通信教育用教材 | 授業の方法（レポート提出及び添削指導） | 成績審査の方法 ①成績審査方法 ②評価段階（合否区分） ③本人確認の方法（最終試験を対面で実施しない場合） |
|-----|----------------------------------|----------------------|--|--|---|
| 1 | 聴覚障害児の心理・生理及び病理 (R6認定通信) | □印刷教材等による授業 ■放送授業 | 担当教員により作成された教材を、大学ポータルサイトよりその都度ダウンロードする。 | ①受講者は大学LMSに登録された学習教材を用いて事前及び事後学習を行う。 ②授業は大学ポータルサイトに登録された動画の視聴により行う。（1講義90分、全15回） ③90分の講義ごとにLMS上での小テストを行い、LMSの記録情報により、受講を確認。小テストの回答者のみが次の講義を視聴できる。 ④質問への対応は、LMS上で回答する。 | ①各回の動画視聴後の小テストに全て合格した者のみ最終試験（レポート）を課す。 ②A, B, C-合格 D-不合格 ③大学LMSの記録情報により、視聴状況、毎回の小テスト、そして最終試験（レポート）により受講状況を確認する。 |
| 2 | 聴覚障害児の教育課程と指導法 (R6認定通信) | □印刷教材等による授業 ■放送授業 | 担当教員により作成された教材を、大学ポータルサイトよりその都度ダウンロードする。 | ①受講者は大学LMSに登録された学習教材を用いて事前及び事後学習を行う。 ②授業は大学ポータルサイトに登録された動画の視聴により行う。（1講義90分、全15回） ③90分の講義ごとにLMS上での小テストを行い、LMSの記録情報により、受講を確認。小テストの回答者のみが次の講義を視聴できる。 ④質問への対応は、LMS上で回答する。 | ①各回の動画視聴後の小テストに全て合格した者のみ最終試験（レポート）を課す。 ②A, B, C-合格 D-不合格 ③大学LMSの記録情報により、視聴状況、毎回の小テスト、そして最終試験（レポート）により受講状況を確認する。 |
| 3 | 聴覚と他の障害を併せ持つ重複障害児の教育 (R6認定通信) | □印刷教材等による授業 ■放送授業 | 担当教員により作成された教材を、大学ポータルサイトよりその都度ダウンロードする。 | ①受講者は大学LMSに登録された学習教材を用いて事前及び事後学習を行う。 ②授業は大学ポータルサイトに登録された動画の視聴により行う。（1講義90分、全15回） ③90分の講義ごとにLMS上での小テストを行い、LMSの記録情報により、受講を確認。小テストの回答者のみが次の講義を視聴できる。 ④質問への対応は、LMS上で回答する。 | ①各回の動画視聴後の小テストに全て合格した者のみ最終試験（レポート）を課す。 ②A, B, C-合格 D-不合格 ③大学LMSの記録情報により、視聴状況、毎回の小テスト、そして最終試験（レポート）により受講状況を確認する。 |